

一 人口の動き

12月末日現在
 ()は11月末との比較
 人口 6,006人 (+8人)
 男 2,934人 (+10人)
 女 3,072人 (-2人)
 世帯 1,271世帯
 出生 12人 死亡 4人
 転入 9人 転出 9人

広報

わしま

発行
 和島村役場企画課
 発行日
 昭和49年2月1日
 印刷所
 西山町 三共印刷



中にはいるとさすがに暖かく寒暖計は、二十度以上を指している。目にはいるのは、小鉢に植られた赤、白、ピンクのシクラメン、まだこれから咲こうとしているものばかり。この道十三年のベテラン大矢取一郎氏に見守られながらスクスクと育ち、やがて春を上げる使者として、各家庭に可憐な顔を見せるでしょう。 - 高畑地区

春を待つ

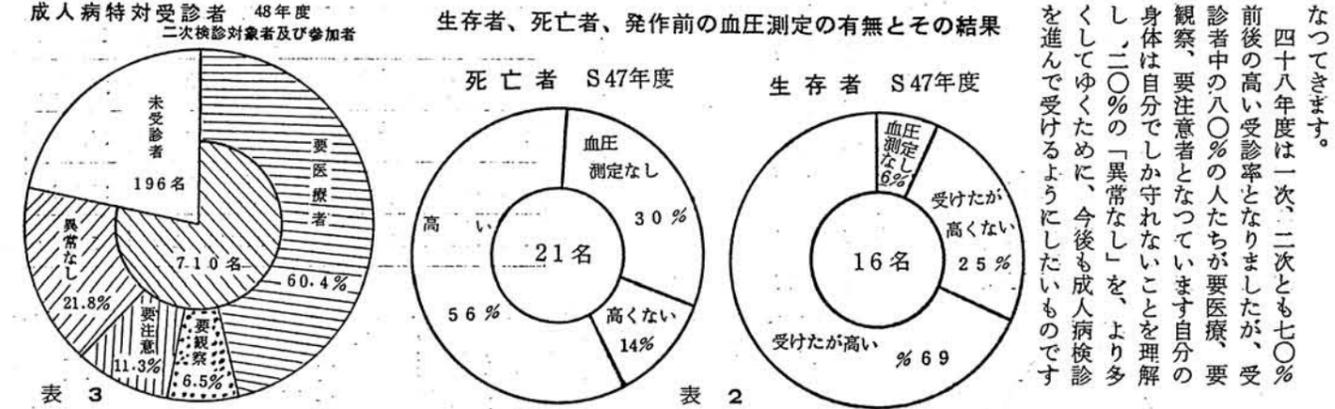
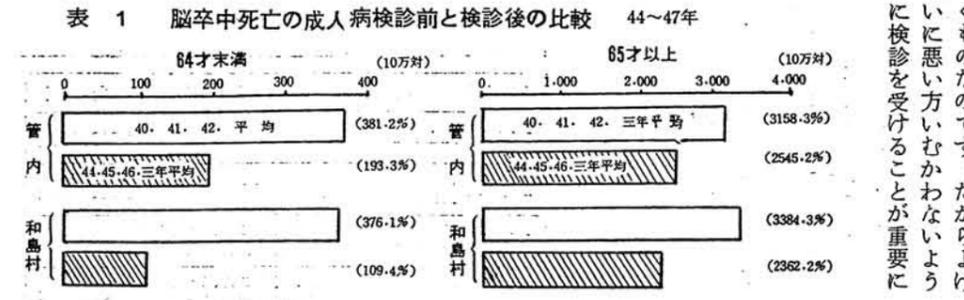
成人病検診で卒中減少

わたくしたちは、つねに成人病、とくに卒中に悩み苦しめられています。村では昭和四十四年度から成人病検診を始めましたがその追跡調査から成人病についてふりかえって見ましょう。

成人病は、①風邪のように大量の菌が一度に身体を、おそつてくるのではなく若いときからの無理、疲労、ストレスや食習慣などが年とともに積み重なってきて最後に発病する。②病気になるついてもほとんどの人は気がつかない(自覚症状がない。)③どんなに抵抗しても身体は年とともに弱くなってゆく。などの問題からおきるやつかない病気です。(表一)(三参照)

成人病の中で大きな割合をしめる卒中についてみると、検診を始めてから、卒中をおこしたり卒中で亡くなったりする人の数がガタンと減り、発作をおこしても強い発作よりも弱い発作を何回もくり返しているうちに悪化してゆくこと。また、血圧測定により高いと言われた人の約半数が発作をおこしていることがわかります。

成人病検診の該当者全員がこれにあてはまるとは言えませんが、少なくともその危険性を背負っているわけです。



お知らせ

2月の保健衛生行事

| 日 | 曜日 | 種目 | 対象 | 時間 | 場所 |
|---|----|-------|--------------------------|------------|-------------|
| 二 | 土 | 健康相談 | 婚前、新婚、その他 | 午前九時~十一時 | 和島村総合福祉センター |
| 三 | 金 | 血圧相談 | 一般住民 | 午後一時三十分~三時 | 同上 |
| 四 | 木 | 妊婦検診 | 妊婦 | 午後一時三十分~三時 | 同上 |
| 五 | 水 | 二才児検診 | 昭和四十六年四月二日~同年九月三〇日までの出産者 | 同上 | 同上 |

今月の免許書き換えは、二十日(水)午後一時から午後五時まで福祉センターで行います。携行品は次のとおりです。

- 免許証
- 写真一枚(免許用)
- 収入証紙千円分(銀行で取り扱っています。)
- 手数料 百円。

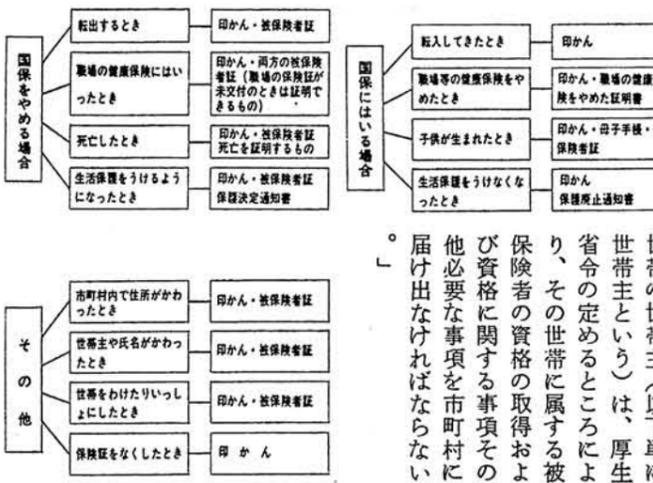
国民健康保険に加入の皆さんへ

(異動の届出について)

一部の方で、会社の健康保険にはいると会社から役場の係に連絡があるんじゃないかと誤解があるようですが、役場の係は、会社の健康保険に入った事が、世帯主の届出によつてはじめてわかり、処理する訳で、会社から直接連絡が来ることはありません。世帯内の移動は、遅れることなく届けてください。遅い届出により、保険料の増加医療費の返還、皆さんが医療費を全額負担しなければなら

ないなどとなり、お互いに嫌な思いをすることになります。すみやかな届出を常に心がけてください。

また、役場に届けると同時に病院、医院の方にも会社の健康保険証を見せて、今度国保から会社の健康保険に変わったことを知らせてください。特に老人のかたがむすこさんの会社の健康保険に被扶養者として入ったときには、むすこさんのほうで、老人のかたにそれを教えてやるなり、病



贈与税は、前年中に個人から財産をもらった人にかかる税金で、そのもらった財産の価額が、基礎控除額である四十万円をこえるときは、贈与税の申告と納税をしなければなりません。

そこで贈与は一度にもらうか数年間にわたつてももらうかによつて、基礎控除や税率の関係から税額に差がでるため税負担の公平面から、三年以内に同じ人から「一年目四十万円、二年目二十万円、三年目二十万円以下」までは税はかかりませんが、こえる額は課税されます。

申告の受付は二月一日から税務署で行われています。

還付をうけるための申告は早めに

昭和48年分の所得税の確定申告と納税は、2月16日から

3月15日までは、その世帯に属するすべての被保険者が、その資格を喪失したときは、厚生省令の定めるところにより、すみやかに、市町村にその旨を届け出ると共に、被保険者証を返還しなければなりません。

贈与税は、前年中に個人から財産をもらった人にかかる税金で、そのもらった財産の価額が、基礎控除額である四十万円をこえるときは、贈与税の申告と納税をしなければなりません。

そこで贈与は一度にもらうか数年間にわたつてももらうかによつて、基礎控除や税率の関係から税額に差がでるため税負担の公平面から、三年以内に同じ人から「一年目四十万円、二年目二十万円、三年目二十万円以下」までは税はかかりませんが、こえる額は課税されます。

申告の受付は二月一日から税務署で行われています。

還付をうけるための申告は早めに

昭和48年分の所得税の確定申告と納税は、2月16日から

祝いの

贈与税

税金がもどる人

確定申告をすれば

確定申告書に添付する書類(一般的なもの)

確定申告をするとき、申告書に添付したり、提示しなければならぬ書類は次のとおりです。から、あらかじめ用意をしてください。

①住宅取得控除を受ける場合は、建築確認通知書の写し(建築確認が必要でない家は設計図などの書類やその写し)

②登記簿謄本や請負契約書、売買契約書などで家屋の工事の着手年月日、購入年月日を明らかにする書類やその写し

③住民票の写し

ただし、四十七年分についてはこれらの書類を添付してこの控除を受けている場合は、これらの書類を添付する必要はありません。

④医療費控除を受ける場合は、支払った医療費の領収書

⑤小規模企業共済等掛金控除を受ける場合は、支払った掛金の証明書

⑥生命保険料控除を受ける場合は、支払った生命保険料が一契約九千円をこえるときは、その支払保険料の証明書

⑦損害保険料控除を受ける場合は、支払った保険料の証明書

⑧給与所得がある人は、勤務先からもらった源泉徴収票

なお、③から⑧までの保険料や掛金で、すでに年末調整の際に給与所得から控除を受けた分については、除除ため添付する必要はありません。

一日一円で安心

あなたは、交通事故の記事が一日として新聞紙上から消えた記憶がありますか、そうです、いまでは交通事故は、日毎に増えることがあつても減ることはありません。あなたの身にも、あなたの家族にも、いつ交通事故の危険がおよそつてくるか知れません。

このため、新潟県内の市町村では、五年前から一日一円の安い会費で、「不幸な交通事故にあつた方へ、会員相互の助け合いによつて見舞金を」とどける新潟県交通災害共済組合を発足させました。

これは、一人年額三百五十円の会費で事故にあつた会員の方々に見舞金をさしあげようという制度です。

一日一円の会費で少しでも事故にあつた家族の負担をなぐしたいものです。

昨年(昭和48年)は村内の半数以上の方々が加入しております。いっどこでだれが災難にあつかわかりません。子供から老人まで家族そろつて、この制度に加入いたしました。

加入申し込みについては、各部落の区長さんに申し込み用紙を配りましたので、会費をそえて申し込みください。

| 等級 | 災害の程度 | 金額 |
|-----|---|----------|
| 1等級 | 死亡した場合 | 500,000円 |
| 2等級 | 自賠責施行令別表の等級区分の1級各号に掲げる傷害の場合 | 300,000円 |
| 3等級 | 治療を要した期間が6月をこえ、かつ、入院30日以上を含む実治療日数90日以上のもの | 100,000円 |
| 4等級 | 治療を要した期間が5月をこえ、かつ、入院21日以上を含む実治療日数75日以上のもの | 80,000円 |
| 5等級 | 治療を要した期間が4月をこえ、かつ、入院14日以上を含む実治療日数60日以上のもの | 65,000円 |
| 6等級 | 治療を要した期間が3月をこえ、かつ、入院7日以上を含む実治療日数45日以上のもの | 50,000円 |
| 7等級 | 治療を要した期間が2月をこえ、かつ、入院通院の実治療日数30日以上のもの | 35,000円 |
| 8等級 | 治療を要した期間が1月をこえ、かつ、入院通院の実治療日数15日以上のもの | 20,000円 |
| 9等級 | 入院・通院の実治療日数7日以上のもの | 5,000円 |

灯油、ガスに標準価格

昨年の東中戦争以来、アラブ諸国から石油輸入が減少され、家庭用灯油、プロパンガスなどの生活物資の確保がむずかしくなり住民生活に大きな社会不安をあたえてきました。こうしたことから、生活に重要な物資または住民経済上重要と思われる物資を、法律により指定して、物資が高くなつたり高くなるにやうに標準価格を定める制度ができました。

この制度により、住民生活に大きな比重をしめる灯油とプロパンガスが一月十八日から標準価格がもうけられ、標準価格以上で販売することができなくなりました。また、これらの物資を販売する小売

お取換えします

書き損じたはがき類

郵便はがきやミニレターなどを書き損じたり、印刷を誤つたりしたときは、お取り換へいたします。手数料は一枚につき次のとおりです。

通常はがき、往復はがきの往信部または返信部のみ小包はがきは二円。往復はがき、ミニレターは四円。外国郵便はがきは五円。航空書簡は十円。なお、昭和四十一年七月以前に発行された「簡易はがき」は交換できません。

また、これらのことで苦情などがありましたら役場企画課へ連絡して下さい。

ハタ織りをしてみませんか

主婦の皆さん、十日町のハタ織りを内職にしてみませんか、主人、子供さん達を送り出した後、留守番をしながらハタ織りをしてみてはいかがでしょう。

村内には一四〇人の皆さんが楽しくハタを織っており、十日町でも和島のハタ織りに期待しております。月収は三万円以上、織る人も数多くなつています。

機械の導入は無料で村内では二人の指導員が親切に教えております。

現在機械の余裕が数台ありますが、数に制限がありますので早目に役場開発振興課

優秀賞に 山田辰次氏

「木を植えてえがく郷土のあすの夢」をスローガンに、和島村造林推進協議会主催の第一回造林地手入コンクール表彰式が昨年十二月二十四日役場でひらかれました。

出展対象面積は一ヘクタールと大面積にもかかわらず、四十九点の出展があり、長岡林業事務所、三島北部森林組合の協力を得て、現地調査のうえ二次審査、最終審査と進みつぎのとおり入賞者がまりました。

▽優秀賞 山田辰次(高畑)
八子松一郎(阿弥陀瀬)
八子規正(阿弥陀瀬)、星八左エ門(下富岡)、高橋二郎(高畑)、山田薫、(村田)山田熊一(荒巻)、▽技術賞 川瀬朝光(東保内)、▽努力賞 佐々木剛(日野浦)

工係か、直接商工会にお申込み下さい。

あなた、交通事故の記事が一日として新聞紙上から消えた記憶がありますか、そうです、いまでは交通事故は、日毎に増えることがあつても減ることはありません。あなたの身にも、あなたの家族にも、いつ交通事故の危険がおよそつてくるか知れません。

このため、新潟県内の市町村では、五年前から一日一円の安い会費で、「不幸な交通事故にあつた方へ、会員相互の助け合いによつて見舞金を」とどける新潟県交通災害共済組合を発足させました。

これは、一人年額三百五十円の会費で事故にあつた会員の方々に見舞金をさしあげようという制度です。

一日一円の会費で少しでも事故にあつた家族の負担をなぐしたいものです。

昨年(昭和48年)は村内の半数以上の方々が加入しております。いっどこでだれが災難にあつかわかりません。子供から老人まで家族そろつて、この制度に加入いたしました。

加入申し込みについては、各部落の区長さんに申し込み用紙を配りましたので、会費をそえて申し込みください。

昨年の東中戦争以来、アラブ諸国から石油輸入が減少され、家庭用灯油、プロパンガスなどの生活物資の確保がむずかしくなり住民生活に大きな社会不安をあたえてきました。こうしたことから、生活に重要な物資または住民経済上重要と思われる物資を、法律により指定して、物資が高くなつたり高くなるにやうに標準価格を定める制度ができました。

この制度により、住民生活に大きな比重をしめる灯油とプロパンガスが一月十八日から標準価格がもうけられ、標準価格以上で販売することができなくなりました。また、これらの物資を販売する小売

